

部に位置する都會にして、北京を距る一千百里なり。漢城、回城の二に分れ、漢城は一邊の長さ約五百米突の方形、高さ二十米突、厚さ十米突の土壁を環らせり。北は十餘里を隔て、巴里坤、天山東西に走せ、南は概ね平坦なる肥沃の黃土地に屬して、天山の南麓より發する數條の河川は、此の沃土を灌溉し、其の大なるものは、城北約二十五六町、龍王廟に於て東西二流に岐る。東流は東門外二百米突の處を南(其幅十數米突平時)に、西流は城西五百米突の邊を南に流れ、城南約一里餘の地點に及んで東西二流相合し、茲に幅五十米突、水幅五米突の一河を成せり。其の東西兩流の沿岸には、楊柳繁茂し、前方爲めに蔭蔽せらる。

西流の右岸に回城ありて、一邊七百米突の方形土壁之を環り、城内には哈密回部親王の邸宅及衙門あり。

從來清國の兵を西域に出す毎に、必ず當地を糧餉の集積場に充つるもの、豈宜ならずとせんや。哈密は實に新疆の門戸にして、關外樞要の重鎮たり。

人家は漢城約二千戸、回城約五百戸、計約二千五百戸あり。漢人、漢回は各々其の數相如き、纏頭(人種名)は最も多く、約二分の一を占む。是等三人種は、其の心中は兎

糧餉の集積場

住民の種類